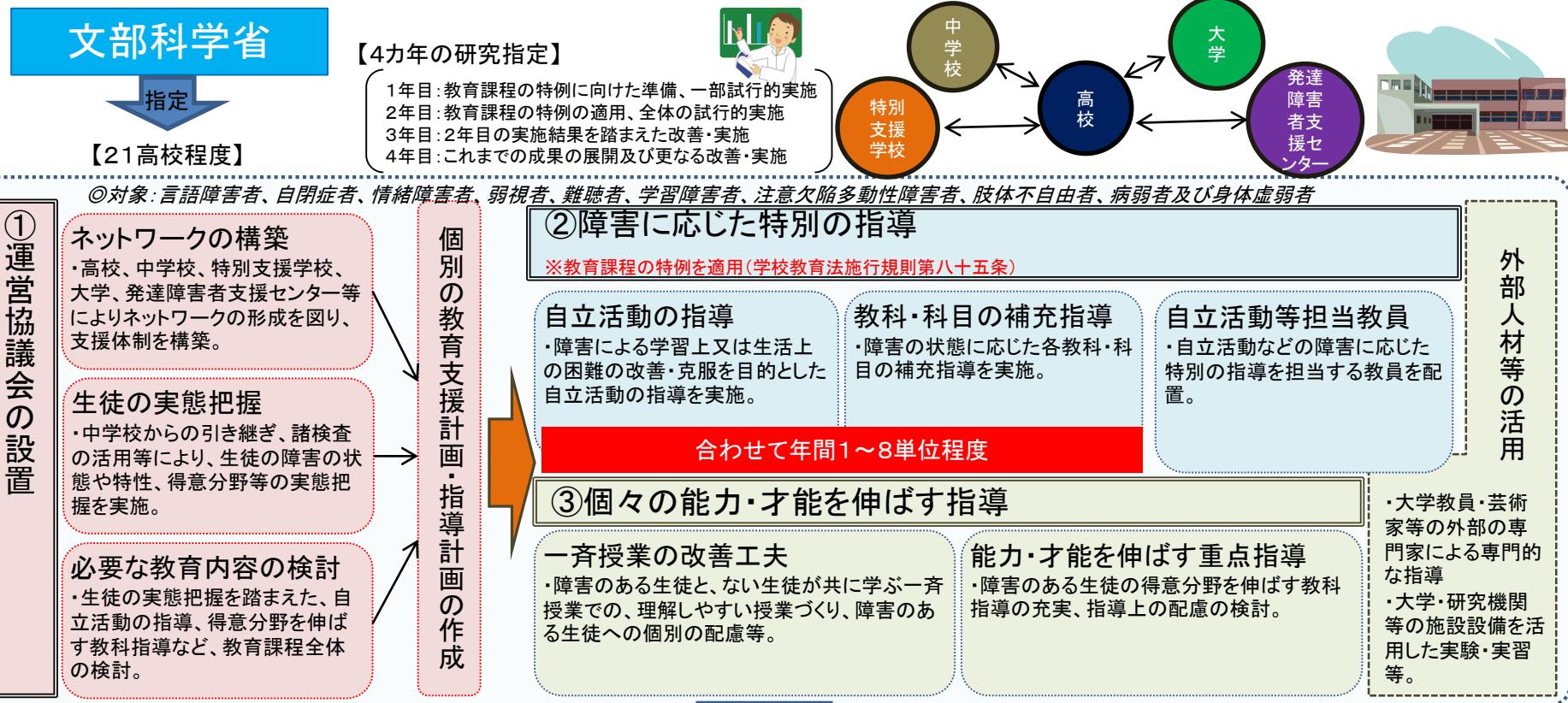


自立・社会参加に向けた高等学校段階における特別支援教育充実事業 ～個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育モデル事業～

平成29年度予算額：96百万円
(平成28年度予算額：343百万円の内数)

障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とする自立活動等について、高等学校においても実施できるよう「特別の教育課程」の編成に関する研究とともに、障害のある生徒の主体的な取組を支援するという視点に立ち、その持てる力を高めるよう、教科指導等を通して個々の能力・才能を伸ばす指導の充実に関する研究を実施し、高等学校における特別支援教育の充実を図る。



高等学校における特別支援教育の充実

自立活動により、障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服
(例) クラスの仲間とのコミュニケーションなど対人関係が困難。
→自立活動の「人間関係の形成」に関する指導により改善

一斉授業等の中で、得意分野を更に伸ばす
(例) 読むことは困難だけど、計算はズバ抜けてる。
→文章を図解するなど視覚化を重視した国語の一斉授業の改善
(理解しやすい授業づくり) や、数学重点コースの設置など

平成30年度からの高等学校における「通級による指導の円滑な運用のために、成果を普及